

平成28年度 指定管理者施設管理評価シート

部	福祉部	課	障害福祉課
---	-----	---	-------

施設名称	〔31〕 東京都台東区身体障害者生活ホームフロム千束					
指定管理者の名称	社会福祉法人台東つばさ福祉会		指定期間	H27.4.1 ~ H32.3.31		
1. 指定管理者の概要						
(1)業務内容	障害者福祉施設（生活介護1、身体障害者生活ホーム1、知的障害者グループホーム7、就労移行支援1、放課後等デイサービス1、特定相談支援事業1）の運営、就労支援事業					
(2)類似施設の管理実績	同上					
(3)経営状況	[社会福祉事業区分]歳入 444,834,944円 歳出 438,643,813円 収支差額 6,191,131円 [公益事業区分]歳入 25,038,571円 歳出 25,038,571円 収支差額 0円					
2. 施設の概要						
(1)所在地	台東区千束3-28-13 千束保健福祉センター2階					
(2)設置目的	心身障害者の福祉の増進を図り、地域社会での自立生活を促進するため					
(3)利用者	台東区内に住所を有する身体障害者					
(4)開館日・時間	通年・24時間					
(5)規模	千束保健福祉センター内 RC造 地上7階地下2階のうち2階 延6,733.87㎡のうち2階765.53㎡ 居室11、介護人室2、食堂、浴室、洗濯室、トイレ					
(6)人員体制	11名 【内訳】施設長1、生活支援員 常勤6 非常勤4					
3. 事業（サービス提供）の概要						
(1)委託事業	・入居事業 ・自立生活体験事業 一定期間（1か月単位）の入居生活を体験する事業					
(2)自主事業	「フロム千束」の近隣に居住する一人暮らしの在宅障害者に、浴室提供を行う。					
4. 予算決算の推移						
		23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
予算	委託料	56,972,000	56,167,000	61,611,000	64,743,000	62,792,000
	利用料金収入	2,987,000	2,665,000	2,665,000	2,665,000	2,665,000
	その他収入	1,018,000	243,000	303,000	303,000	302,000
	管理経費	60,977,000	59,075,000	64,579,000	67,711,000	65,759,000
決算	委託料	53,153,225	55,659,821	56,127,904	63,412,849	61,898,932
	利用料金収入	2,632,970	2,684,140	2,722,620	2,658,260	2,714,430
	その他収入	442,450	356,500	189,290	147,490	106,940
	管理経費	56,228,645	58,700,461	59,039,814	66,218,599	64,720,302
	収支	0	0	0	0	0
5. 施設の稼働状況等（活動指標）						
指標名称	単位	24年度	25年度	26年度	27年度	
部屋数（入居事業）	室	9	9	9	9	
部屋数（自立生活体験事業）	室	2	2	2	2	
6. 成果指標						
指標名称	単位	目標値 （29年度）	25年度	26年度	27年度	
稼働率	%	100	100	99.2	98.4	
年間延月単位利用者数	人	132	132	131	130	

7. 平成27年度評価結果に対する現在までの取組み

自主事業については、需要の多い浴室提供サービスを実施し、安定的な提供を行っている。自立生活体験事業では、人員体制が組めないことから夜間の見守りが必要な方の受け入れができなかったが、27年度からの試行として、これまで1か月単位であった体験期間を1週間単位として受け入れを行った。

8. 評価項目  
 3：協定等の水準を上回っている。  
 2：協定等の水準どおりである。  
 1：おおむね協定等の水準だが課題がある。  
 0：協定等の水準を下回っている。  
 -：評価対象外項目。

評価の観点	評価項目			
(1)事業の運営 平均 [2.0]	(a)施設の目的達成	[2]	(f)開館時間等の遵守	[2]
	(b)サービス水準	[2]	(g)自主事業の成果	[2]
	(c)職員配置	[2]	(h)個人情報保護	[2]
	(d)職員研修	[2]	(i)緊急時対応	[2]
	(e)案内・接遇	[2]	(j)警備・防犯体制	[2]
(2)施設の維持管理 平均 [2.0]	(a)建物保守・設備機器点検	[2]	(e)危険箇所等の確認	[2]
	(b)備品の管理	[2]	(f)管理記録の作成・保存	[2]
	(c)清掃・衛生管理	[2]	(g)業務委託の事前承認	[2]
	(d)施設の修繕	[2]	(h)省エネ・省資源・環境配慮	[2]
(3)利用者の満足度 平均 [2.0]	(a)利用者・第三者機関の評価	[2]	(d)利用しやすい環境整備	[2]
	(b)苦情・要望への対応と報告	[2]	(e)関係団体・地域との関わり	[2]
	(c)利用者数等の目標達成	[2]		
(4)収入支出 平均 [2.0]	(a)適正な予算執行	[2]	(c)収支計画の達成	[2]
	(b)管理経費の効率化	[2]	(d)利用料等の徴収・管理	[2]

9. 評価  
 S（水準以上）：協定等の水準を満たし、一部に水準を上回る内容がある。  
 A（適正）：協定等の水準を満たす管理が行われている。  
 B（一部課題あり）：協定等の水準を満たしているが、一部に課題がある。  
 C（課題あり）：協定等の水準を満たしているが、課題が複数ある。  
 D（水準未滿）：協定等の水準を満たしていない。

評価の観点	評価	説明
(1)事業の運営	A	入居事業(定住)及び体験入居の稼働率は98%であり、概ね良好に行われている。体験入居では、要望のあった夜間対応(見守り)が必要な方について、試行的に1週間単位での受け入れを実施した。
(2)施設の維持管理	A	設備点検を定期的実施するとともに、施設の不具合や利用者の状況変化等に応じて修繕等迅速な対応を行い、利用者の安全確保に努めている。大規模な工事については、前年度から区へ要望があり、計画的で適切な維持管理体制がとられている。
(3)利用者の満足度	A	定期的利用者の要望等を聞く機会を設け、施設の行事や入居者に応じた支援等、利用者の声を事業運営に反映させる仕組みづくりに努めている。苦情対応では、苦情解決制度要綱を制定し、第三者委員等の設置により適切に対応する体制整備を行っている。
(4)収入支出	A	効率的な事業運営に努めており、適正な予算執行・予算管理が行われている。

10. 総合評価 良好 妥当 要努力 要改善 不適

<b>妥当</b>	関係団体と連絡・調整を取りながら障害福祉の担い手として、適切な施設の維持管理及び利用者本位のサービス提供に努めている。
-----------	---

11. 平成28年度評価結果に対する今後の対応

高い稼働率を維持していくとともに、自主事業については需要の多い浴室提供サービスを継続的に実施し、さらなる地域サービスの向上に努めていく。